

## 平成 25 年度第 1 回北海道立図書館協議会会議概要

日 時：平成 25 年 7 月 18 日（木）

会 場：北海道立図書館 会議室

出席者：協議会委員 9 名、道立図書館職員 13 名

傍聴者：なし

### 議事等

#### 1 議題

- (1) 副会長の選出について
- (2) 平成 24 年度業務実績について

#### 2 その他

会議概要 （○～委員の発言 ・～道立図書館職員の発言）

#### 1 議題

- (1) 副会長の選出について

- 下田委員がよろしいのではないかと思いますので、推薦します。
- <議長(会長)>下田委員に副会長をお願いするということによろしいでしょうか。皆さんの拍手をもって確認したいと思います。（拍手）それでは下田副会長からご挨拶をお願いします。
- <副会長>吉田前副会長には公立図書館等についていろいろ教えていただきました。皆様のご協力をいただきながら、がんばりたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

- (2) 平成 24 年度業務実績について

金山利用サービス部長説明

（資料：「平成 24 年度北海道立図書館業務実績報告書」）

<1 (2) 協力レファレンスの推進(2p)>

- 所蔵調査について、蔵書検索は WebOPAC の利用が定着しているということですが、基本的に所蔵資料は OPAC に入っているのですか。
  - ・ 図書は全部入っています。雑誌は 1 割弱入っていないものがあります。
- 道立図書館に導入されているデータベースには、どんなものがありますか。また、それは道立図書館のホームページから分かるようになっているのですか。
  - ・ 官報情報検索サービス、JDreamⅢ、CiNii、MAGAZINPLUS、ルーラル電子図書館、日経テレコン 21、Lexis AS ONE の 7 つです。基本的にはレファレンス業務用として職員が使用していますので、ホームページでは分かりません。官報情報検索サービスと農山漁村文化協会が提供するルーラル電子図書館については、来館者に公開しています。

<子ども読書活動支援について(3p-4p)-1(3) 市町村活動支援事業の推進->

- 子どもイベントサポートボックスと学校図書館サポートボックスについて、あまり利用されなかったということですが、今後はどんなPRを考えていますか。
  - ・ 子どもイベントサポートボックスについては、市町村に配付しているリストの構成を見直し、わかりやすいリストを作り、各種事業に役立つことを機会あるごとにPRしていきます。  
学校図書館サポートボックスは、昨年度、理科読セット、朝読・昼読ボックス、調べ学習支援セットの3種類をつくりました。約250冊を1セットにした理科読セット、朝読・昼読ボックスは大好評でしたが、調べ学習支援セットは約10冊を1セットにした先生向けの内容のもので、つくった時期も遅かったことから、PRが不十分で利用してもらえませんでした。今年度は、調べ学習支援セットの本を子どもイベントサポートボックスの本に組み入れて、利用を促していきたいと考えています。
- 子どもイベントサポートボックスの利用について、目標値を下回った一因として「利用を希望するタイトルや時期が重なった」ということですが、対応策はありますか。
  - ・ 人気の本は希望する時期が重なる可能性がありますので、その場合は他のセットを勧めていきたいと思えます。
- 市町村で行っている学校図書館へのサポートとは、どのように調整していますか。
  - ・ 図書館活動が充実しておらず書店がないような町など、学校図書館へのサポートが十分にできない町への支援を優先して取り組んでいきます。
- 自分の町に本が揃っていないけれども積極的に希望もしないという町には、何か働きかけをしているのですか。
  - ・ 利用の申込みが複数あるので、昨年度利用して今年度も希望しているところはお断りしています。その分利用希望のない町に個別に働きかけをしていきたいと思えます。

<2(1) 資料の収集・整備(5p)>

- 蔵書冊数について、除籍したことにより累計冊数は目標値を下回ったということですが、これから余り増える見通しがなく、毎年同じように推移するということですか。
  - ・ 支援活動用資料について、数年間行っていなかった除籍をまとめて行ったことによるものです。この支援活動用資料は、市町村の図書室等の利用促進を図るために貸し出す本で、一定期間経過した資料は除籍することが必要です。毎年、受入分くらいを除籍していきたいと思えます。

<3(1) 貸出しの充実(5p)>

- インターネット予約貸出しやレファレンスサービスについて、分野や内容的な傾向はわかりますか。
  - ・ 特に分析をしていますが、インターネット予約貸出しは図書館がない町を中心に活用されていますので、そのような小さな町では読み物・小説・エッセイなどが多いです。

<3(7) 開館時間の延長(7p)>

- 平成24年度の実績について、どのように評価していますか。また、今後、開館時間延長の拡大といった考えはありますか。
  - ・ 今まで試行開館を続けていて、やっと昨年度本格実施したところですので、今後分析をしながら進めていくこととなりますが、今のところはこれ以上進めることは考えていません。

<8 (2) 書架の増設等による収納スペースの確保(11p)>

- 道内の高校等の遊休施設に蔵書に移しているということですが、道内の各図書館が抱える書庫問題の非常に有力な対策になると思います。統一して空きスペースを利用するような可能性はありますか。
  - ・ 市町村の図書館は、鮮度の高い蔵書構成で多くの人に利用してもらうことが基本ですので、地域資料など一部の資料を除いて一定期間を過ぎたものは除籍をします。一定程度の書庫は必要だとは思いますが、遊休施設を使ってまでという市町村は多くないと思います。
- 利用者との関係で利用が見込まれるものを中心に並べる一方、専門図書・貴重資料などを永久的に保存するという意味もあると思いますが。
  - ・ 地域資料に関しては、市町村においても永久保存する必要があると思いますが、道立の保存図書館としての役割と市町村の事情とは少し違うと思います。
- 市町村の状況について言いますと、当館でも施設のキャパシティを超える蔵書を持ち、閉校となった学校の教室などを資料書庫として転用の方策も検討の内にあります。別海町では、打開策として、一つの学校に蔵書を一部移管しましたが、市町村の図書館は、利用者へすぐ手渡したいという思いがあるので、書庫を離すことはなかなか難しいです。鮮度のよさを維持しながら地域で必要とされる保管機能も維持したいジレンマがあります。それだけに道立図書館には、保存するという図書館の一大使命を果たすために大きな書庫を是非確保していただきたいと願っています。
- 平成23年度に道立教育研究所、24年度に道立高校に移動した書籍の管理・運用の体制については、利用の要求の対応を含め、どのようにしていますか。
  - ・ この2年間については、散逸の危険性がある雑誌の重複分を移動しました。今後は、利用頻度の低いものからということになると思いますが、利用の要求があったときには、すぐに提供できない旨のアナウンスをしなければいけないと考えています。
- 分室などの看板を出して保管場所を公にしているわけではないということですか。
  - ・ そうです。倉庫のような状態で管理していますが、廃校になった道立高校には新たに特別支援学校の分教室ができるので、全く無人の倉庫というわけではありません。
- 全国的に書庫の問題はどうなっていますか。
  - ・ 当館のように隣接の施設の空いているスペースに預けているところが2、3あると聞いています。また、当館でも行いましたが、新聞をマイクロフィルム化など媒体変換して原紙を捨てるということも書庫狭隘の対策の一つと思われます。
- レンタルで貸してくれる倉庫等に預けて、出し入れも行っているところもあると聞いています。倉庫ではなくて書庫に近いですね。大学図書館の利用も多いと聞いています。
- 電子化ということもあわせて検討していかなければいけないことですね。

<その他>

- この形態になって大変見やすくなったのですが、「施設・設備の整備」などの項目には目標値と実績値が記載されていません。予算の問題等もあると思いますが、難しいことでしょうか。
  - ・ 施設の大規模改修や収納のスペースの確保などについては、難しいところがあります。今年度からスタートした5年間の事業推進計画に基づいて目標値を設定していますが、来年度の運営計画を策定するときにもう一度検討したいと思います。

- 圧倒的に多い小規模市町村としては、道立図書館に今までもこれからもお世話になっていきたいと思っています。実態を言うと、図書館費の予算は2、3百万円程度で、これは臨時の図書館司書の人件費1名分です。人を雇うと図書を買えない、図書を買うと人を雇えないというジレンマの中で、道立図書館が基本方針として出している「図書館のセンターとして(図書館の図書館)」あるいは「参考図書館として」に大いに期待しながら、情報提供や図書の貸出し、職員の研修などでも、お世話になっています。道の財政も大変だと思いますが、これまで以上に情報提供してほしいし、先進的な取組をどんどんやってほしいと思います。

## 2 その他

特定課題評価について 千田総務企画部長説明

(説明要旨)

平成24年度の特定課題評価において、指定管理者制度の導入について他府県の状況などを踏まえ再度整理を行うこととの付帯意見があり、道教委としては指定管理者制度の導入も含め望ましい運営形態などについて検討するとしました。本年10月に検討結果について取りまとめるため、現在、生涯学習課と作業を進めています。

- 指定管理者制度については「検討する」という段階ですね。「積極的に導入しなさい」ということではないですね。
- ・ そういうことはありません。指定管理者制度も含めた望ましい運営形態などについて検討していくということです。

(情報提供)

- (1) 国立国会図書館長との懇談会における情報提供について

阿部館長説明

(資料: 国立国会図書館事業の情報提供)

- (2) 第55回北海道図書館大会について

千田総務企画部長説明

(資料: 記念講演のちらし)

- (3) 子どもの読書活動ネットワークフォーラムについて

千田総務企画部長説明

(資料: 標記第1次案内)

(開会前)

平成25年5月29日付け吉田副会長・神野委員の辞任に伴い、平成25年5月30日付けで任命された松永委員・菅原委員の紹介及び挨拶

平成25年4月1日付けで異動した図書館職員の紹介